

第15回宝塚市子ども議会
質問・要望事項への対応状況について



平成27年（2015年）3月

宝塚市

目次

1 グループ TAKARAZUKA^{セブン}	「学校を楽しく暮らせる場所に」	・・・1
小浜小学校	6年 塚本 雄也	
売布小学校	6年 金川 修	
中山桜台小学校	6年 瀬戸山 実里	
長尾台小学校	6年 森下 穂香	
宝塚中学校	3年 福井 相香	
西谷中学校	2年 呉屋 夏鈴	
養護学校高等部	3年 川本 優雅	
2 グループ ぐらしやすいまちにし隊	「安全でぐらしやすいまち」	・・・5
宝塚第一小学校	6年 伊丹 美優	
仁川小学校	6年 三戸 真美	
売布小学校	6年 時田 雅士	
長尾台小学校	6年 安藤 千春	
小林聖心女子学院小学校	6年 渡辺 爽楽	
宝塚第一中学校	3年 三島 朋也	
宝塚北高等学校	2年 合田 尚友	
3 グループ みんなを幸せにし隊	「宝塚市の生活環境」	・・・10
良元小学校	6年 石井 咲希	
小浜小学校	6年 青木 涼太郎	
仁川小学校	6年 村崎 藍花	
長尾南小学校	6年 永嶋 咲里	
小林聖心女子学院小学校	6年 山岸 はる香	
長尾中学校	3年 小寺 和真	
4 グループ こうえん隊	「宝塚市が使用している資金の使いみちと公園について」	・・・12
良元小学校	6年 綾野 朱莉	
宝塚第一小学校	6年 山本 琴音	
長尾南小学校	6年 尾上 萌花	
中山桜台小学校	6年 桑田 晃希	
小林聖心女子学院中学校	3年 相川 夏葉	
宝塚高等学校	2年 久乗 翔大	

担当部：総務部（人権男女共同参画課）、
教育委員会（教育企画課・施設課・学校教育課）

グループ名	TAKARAZUKA7	テーマ	学校を楽しく暮らせる場所に
質問・提案内容（あらまし）と答弁後の対応			
質問（提案）： ・市の職員の方が人権のことについて小学校に教えに来てもらうことや人権の事について学ぶ授業を増やすことを提案します。なぜなら今まで人権の事について勉強してきましたが、正直良く分かっていません。人権のことをもっと深く理解している人から話を聞くことで人権に対する意識が高まると思います。			
答弁： ・市では、人権を守る社会を作る取組のひとつとして、法務大臣から人権に関する仕事を任せられた11人の人権擁護委員の皆さんが、人権に関する相談を受けたり、人権について街頭で啓発を行ったりしています。人権擁護委員さんの仕事のひとつに、小学校の主に低学年の生徒を対象とする人権教室があります。 人権教室は、人権に関する本やDVDなどを使って、命を大切にすることや相手への思いやりの心を育てることの大切さについて皆さんと一緒に考えることを目的として行っています。学校の先生以外の人から人権のお話を聞くことは、皆さんに様々な人権について考えてもらうよい機会となると思っています。 今後は、人権擁護委員さんの他、市の職員からの話や実際に様々な差別を体験した方から皆さんにお話しをしていただく機会を作ることも、教育委員会と連携しながら検討したいと思っています。 ・学校では、道徳の授業だけではなく、様々な授業や活動の中で、命の大切さを学んだり、いじめや差別について考え、すべての人がかけがえのない存在として認められ、支え合って生きることなどを学んでいます。 人権を学ぶということは、授業の中だけではなく、毎日の生活のあらゆる場面で、自分のことも、人のことも大切にできる心を育てることです。 例えば、いろいろな行事で一人ひとりが自信を持って挑戦することができるよう協力することや、学校生活の中で、友だちのがんばりを認め、励まし合って力を伸ばしたりすることも人権を大切にすることです。また、友だちを傷つける言葉や行動に気づいた時、クラスや学年みんなの問題としてとらえ、話し合い、解決しようとするなど人権についての学びです。 先生方も皆さんに人権についてもっと理解を深めてもらえるよう、人権についての講演会や各学校での研修会に参加して、勉強を続けています。 これからも皆さんが、学校で学んだことを自分たちの生活に活かして、心豊かに育っていけるよう、学校・家庭・地域の皆さんと連携し、人権教育の充実に努力していきます。			
その後の対応状況： 学校からのご要望があれば、教育委員会とも相談の上、市の職員が学校に出かけて人権の事についてお話しすることができます。現在、提案の実現に向けて教育委員会と話し合いを進めています。 なお、人権擁護委員さんによる人権教室については、今年度は市内小学校5校で行いました。人権教室については、来年度以降も、多くの学校で実施できるように取り組みます。			
（人権男女共同参画課、教育委員会）			

質問（提案）：

・宝塚中学校は学校内の端の教室はクーラーが効かないので、授業に集中できない人が増えている状況です。なるべく早く変えてほしいですが、できない場合は扇風機を付けてほしいです。

答弁：

宝塚中学校のエアコンは、市内の学校でも早い時期に設置したので古くなっており、効きが悪くなってきています。古くなった学校のエアコンは、突然故障する可能性が高いことや、皆さんの健康面、省エネの観点から、建物を一斉に冷却する現在の全館空調方式から教室ごとにオンオフや温度調節ができる個別空調方式への切り替えを計画し、快適な環境づくりに向けてエアコンの改修に順次取り組んでいるところです。

現在、市立小中学校では、大きな地震があった場合でも皆さんの命を守ることを一番に考えて、地震に耐えられるよう校舎を補強するための耐震補強工事を最優先に工事を行っています。合わせて、早くエアコン改修できるように取り組んでいきます。改修を実施できるまで、教室の位置によって室温が高くなる場所については、先生と相談しながら、個別に扇風機の配置も考えたいと思います。

その後の対応状況：

宝塚中学校のエアコンについては、古くて性能が劣ってきていることと、省エネの観点から、なるべく早く改修できるように、平成26年度は工事のための設計に取りかかっています。

(教育委員会)

質問（提案）：

・小浜小学校のトイレについて、トイレは掃除をしても臭いがとれず、暗くて臭いイメージがあるので、トイレの照明を明るく工夫したり、少しずつ新しい設備に変えていき、明るくすっきりとした場所にしてほしいです。みんなが気軽に近寄れる所にしてください。

答弁：

さわやかできれいなトイレづくりを進めるために、トイレ改修工事がすんでから7年を超える幼稚園、小・中学校及び特別支援学校を対象に、昨年度から今年度にかけて、専門業者によるトイレの清掃を行っています。

また、照明やトイレブースなどの設備についても、日頃の点検・修理によって改善を行っていますが、傷み具合によっては、修理だけでは充分に対応できず、大がかりな改修工事を実施する必要があるため、傷みの大きな学校から順番に、皆さんが快適に使用できるトイレに整備するようにしています。

その後の対応状況：

小浜小学校では現在、トイレの仕切壁や扉の補修をするための準備中で、平成26年度末には完了する予定です。小規模な傷みについても、日々の点検・修理によって改善を行い、トイレを快適なものにするよう努めています。

(教育委員会)

質問（提案）：

- ・長尾台小学校では、一年のうち何回か本を追加してもらえますが、人気のシリーズなどは、他の人が借りたりして、なかなか借りれなかったりするので、よく借りられたりしているシリーズ類を中心的に、増やしてもらいたいです。
- ・西谷中学校では、読書好きの生徒が多く、六十人弱という人数ですが、貸出冊数は二千冊を超えます。しかし今の予算は、クラスの数によって決まっていると聞いたので、クラス数だけでなく、本をどのくらい読んでいるかも予算配分の基準にしてください。

答弁：

・学校図書館司書は、日頃よりどのような本が皆さんに人気があるのか把握しています。これからも皆さんの希望に応じた本を定期的に追加し、図書室を充実していきます。

また、皆さんが、このような本を置いてほしいという意見がありましたら、是非とも担任の先生や学校図書館司書、図書委員会に相談してください。

もし、学校図書館に読みたい本が見つからない場合は、市内には図書館や分室、移動図書館もあるので、そちらも利用してください。

- ・毎年、学校図書の予算は、市内全校が、国が決めている図書の数を満たせるように配分を行っています。

読書好きの児童生徒の皆さんが多い学校については、予算に反映できるように考えます。

その後の対応状況：

現在、すべての学校にいる図書館司書の方が中心になって、日頃からどのような本が人気があるのかを把握しながら、希望に応じた本を定期的に追加し、図書館の充実を図っています。また、本をどのくらい読んでいるかも予算配分の基準にしてほしいということについては、平成27年度からは反映できるように考えています。

(教育委員会)

質問（提案）：

- ・売布小学校の運動場について、組み体操の時に石が膝にささったりしてとても痛かったり、こけても怪我をしないように、運動場を芝生にしてもらいたいです。

答弁：

芝生を植えると、ころんでも怪我が少なくなったり、グラウンドの砂ぼこり対策になるなど、快適で豊かな環境をつくるうえで多くの効果があると言われています。

一方、芝生を植えるためには、多額の費用が必要となることや、学校のグラウンドは多くの人を利用するのでどうしても芝生が擦り切れて弱ってしまうことから、維持管理のためには、多くの手入れと費用がかかるなどの課題があります。

現在、教育委員会では、踏みしめられて固くなったグラウンドの土を入れ替えて、土を柔らかくすることで、砂ぼこりをおさえたり、怪我を少なくするような対策を順番に行っています。

その後の対応状況：

運動場の芝生化については維持管理の難しさがあるため進めていませんが、怪我や砂ぼこりの防止対策として、運動場の土の入れ替えを順番に行っています。平成26年度は、夏休み中に良元小学校と宝塚中学校で、運動場の土の入れ替えを行いました。

(教育委員会)

質問（提案）：

・売布小学校や中山桜台小学校の体育館は、夏はとても暑く、冬はとても寒いのでエアコンを付けてほしいです。また雨の日などは体育館を使いますが、売布小学校はじゅうぶん広さがないため、体をいっぱい動かすことができないので広くしてください。

答弁：

・市内には宝塚中学校のように、普段使っている教室ごとにエアコンのオンオフができない学校が6校残っています。エアコンの整備には多額の費用がかかることから、まずはそれらの学校校舎に個別方式のエアコンを整備していくことを優先して取り組んでいます。体育館については、校舎への整備が終わってから考えたいと思います。
・売布小学校の体育館は、児童1人当たりの体育館面積からすると、確かに市内でも狭いほうです。しかし、他の学校で耐震補強のために建て替えの必要な体育館を優先して取り組んでいかなければならないことから、すぐに建替えることはできません。それまでの間は現在の体育館を使って下さい。

その後の対応状況：

校舎のエアコン改修が終わっていない学校がありますので、体育館へのエアコン設置はそれらの改修が終わってから検討することになります。売布小学校の体育館を広くするにも、他の学校の耐震化を優先する必要があるため、建て替えには時間がかかります。

(教育委員会)

質問（提案）：

・養護学校高等部では、網戸用のレールがない窓があり、網戸を設置することが出来ないためレールをつけてもらいたいです。また東門の見通しが悪いのでカーブミラーも設置してもらいたいです。

答弁：

・教室の窓には網戸を設置していますが、廊下の外部に面している窓には網戸が設置されていませんので計画的に整備をしていきます。
・門の出入りの安全が確保できるようにカーブミラーの設置も含めて安全対策の方法を考えていきます。

その後の対応状況：

網戸用のレールと、東門のカーブミラーについては、現在設置するための準備をしている最中で、平成26年度末までには設置が完了する予定です。

(教育委員会)

担当部課：都市安全部（道路管理課・道路政策課・防犯交通安全課）、環境部（生活環境課）、上下水道局（浄水課・営業課）、教育委員会（学校教育課）

グループ名	くらしやすいまちにし隊	テーマ	安全で暮らしやすいまち
質問・提案内容（あらし）と答弁後の対応			
質問（提案）： <ul style="list-style-type: none">・中州2丁目内の交差点は見晴らしがあまり良くなくて、車が来ているか分からないので危険です。そこで車にひかれそうになった人もいます。だから、そこにカーブミラーか「止まれ」の標識を付けてほしいです。			
答弁： <ul style="list-style-type: none">・この交差点は、宝塚南口から伊子志への道路が、通行量も多いことから優先路線となっており、交差するもう一方の道路に「止まれ」の交通規制を行い、一旦停止して安全確認することを求めています。 交通規制の所管である宝塚警察署に相談をしたところ、「止まれ」の交通規制は、一方向のみを一旦停止とするのが安全と考えられており、すべての方向に「止まれ」標識の設置を行うことは好ましくないとのことでした。・カーブミラーは、本来車両同士的安全確認のために設置するもので、歩行者が、それに頼って飛び出すのは非常に危険です。 そのため、この交差点では、カーブミラーに代えて、交差点内の舗装の色を変えたり、交差点の中央部に発光する鋏（びょう）を埋めるなど、事故が起こらないような方法を検討してまいります。			
その後の対応状況： <p>交差点の注意喚起を行うため、交差点内のカラー（弁柄（べんがら））舗装を行いました。</p>			
（道路管理課）			
質問（提案）： <ul style="list-style-type: none">・鹿塩1丁目と大成町の間にある阪神競馬場前の大きな道に出る道路は、車道と歩道の幅が狭いので、自転車を安全に運転することが出来ません。今まで、車とぶつかりそうになったことがありました。そこで、その道路に、車が走るところと自転車の走るところを別の色で塗り分けたいと思います。例えば、自転車が通るところは緑色で塗るなどです。			
答弁： <p>最近、自転車による交通事故が多く発生していることから、自転車通行レーンの区分について関心が高まっています。</p> <p>本市においても、安全に自転車が走行できるルートの設定などを検討することとしています。</p> <p>自転車通行レーンを作るには、自動車の交通量や道路の幅や沿道からの出入りの状況など、一定の条件を満足する必要がありますので、ご要望の道路に自転車通行レーンを着色して、自動車との分離が可能かどうか、警察と共に研究した上で、地元の皆様と協議をしております。</p>			
その後の対応状況： <p>道路を車が走るところと自転車が走るところを塗り分ける件ですが、ご提案のあった鹿塩1丁目と大成町の間にある阪神競馬場前の大きな道に出る道路では実現していませんが、阪神競馬場前の大きな道では、自転車が走るところを水色に塗り分けた自転車レーンの供用が2月2日から始まりました。</p> <p>自転車レーンでは、自転車は車と同じ向きに通行するという決まりがありますが、車や他の自転車の通行に十分に気を付けて利用してください。</p> <p>この他の自転車が安全に走行できるルートの設定については、3月までに市と兵庫県で話し合いの場をつくり、検討を始めます。</p>			
（道路政策課）			

質問（提案）：

・花屋敷つつじが丘の安国寺の近くの階段を登り切ったところにある歩道はものすごく狭くて、人が一人通れるくらいの幅しかありません。しかし、ここは通学路として、沢山の地区の登校班が合流するところなので、階段の下で待っていなければならないことがあります。できるなら、その歩道を広くしてほしいです。

答弁：

現地は、歩道の幅員が1 m程度で、また途中で樹木が歩道上に植わっていて、歩道をさらに狭めている箇所があります。この樹木は、高さが10 m近くある大木で、古くからこの場所に植わっていることから、歩道を広く使うために伐採することが望ましいかどうかについて、地域の皆さまと相談をしながら検討します。

今後、現地を調査し、樹木の伐採も含め、現状の狭い歩道を通りやすくするのにどのような方法があるか考えてまいります。

その後の対応状況：

歩道幅員を狭めている樹木について、伐採する方針で地元自治会等の総意を得、隣接住民と調整中です。

(道路管理課)

質問（提案）：

・野上2丁目から3丁目にある野上児童館の前の道は街灯が少ないので、夜になると周りがよく見えなくなってしまい、とても危険です。今までからあるそれぞれの街灯の真ん中に新しい街灯を置いて事故が起こりにくいようにしてほしいです。

答弁：

道路の明るさについて現地調査を行った結果、ご指摘のとおり、やや暗い箇所も見受けられましたので、部分的に街路灯の数を増やすことを検討していきます。

設置する際には、地元自治会と協議をする必要がありますので、しばらくお待ちください。

その後の対応状況：

ご提案の趣旨を踏まえ、地元自治会に街路灯設置についてお話をさせていただきました。

現在、地元自治会で設置希望場所について、ご検討をいただいているところです。

(防犯交通安全課)

質問（提案）：

・売布3丁目の中国自動車道の前の道は通学路になっていますが、普段は人があまり通らない道です。一方、車がよく横切り、なかなか減速せず、見通しも悪いです。そこで、その場所に押ボタン式の信号を置いてほしいです。

答弁：

信号機の新設については、兵庫県の公安委員会が、交通量や道路状況を基準に、必要性、緊急性、有効性の高い箇所から設置しています。

兵庫県内では、毎年信号機の設置の要望が数多く寄せられており、多くの市町でも、信号機が設置されることを待ち望んでいる状況であり、また、ここ数年は市内での信号機新設も少なく設置は困難な状況ではあると思いますが、今回いただいた要望の内容は宝塚警察署にもお伝えしました。

なお、この交差点につきましては、付近の自治会から、交差点で一時停止の交通規制がないので危険であるため、一時停止の交通規制の要望がありました。このことを受けて、市からもお願いをした結果、宝塚警察署及び兵庫県公安委員会で規制がかけられるよう準備が進められています。

その後の対応状況：

この交差点につきましては、信号機の設置の要望ではありませんが、一時停止の交通規制の要望が、付近の自治会からありました。

現在、売布橋を出る所と向側に一時停止規制をするよう、準備を進めています。

(防犯交通安全課)

質問（提案）：

- ・宝塚駅の周辺などに、空き缶や、たばこの吸い殻が落ちているのをよく見かけます。ポイ捨てを防止するために駅の周りなど、ごみがよく落ちているところに、ごみ箱を置いてほしいです。
- ・また、市内の小中学校で「ポイ捨てはダメなことだ」と教えてほしいです。

答弁：

・市では、市内に空き缶やごみが散乱することを防止するために、1994年に空き缶などのポイ捨てを禁止する条例を制定して、主な駅周辺やバス停などに灰皿付きのごみ箱を設置しました。

そして、設置したごみ箱のごみの回収や、ごみ箱周辺の清掃を行ったり、駅の周辺や、大きな道路沿いにポイ捨てされたごみの回収を定期的に行っています。

しかし、最近是一部の心無い方によってごみ箱に家庭ごみを捨てられ、ごみ箱からごみがあふれたり、たばこの煙によって健康被害が心配されることなどから、周辺の住民や利用される方々からごみ箱を撤去してほしいとの要望がたくさん寄せられるようになりました。このことから、現在、設置しているごみ箱についてはできるだけ無くしていこうとしており、設置し始めた時に比べて半以下になっています。

市としては、ごみを再利用できるものとできないものに分別することで、ごみの量を減らす取り組みを進めるとともに、外出した時のごみについても、持ち帰って処理するというマナーを広めていくことが、ごみを出さない美しいまちづくりを進めるために大切なことだと思っています。

これからも、ごみのポイ捨てがない「美しいまち宝塚」となるよう啓発に努め、市民の皆さんに協力をお願いしていきたいと思います。

・小学校では、クリーンセンターの見学をはじめ、様々な環境体験学習や社会科での環境や資源に関する学習を通して、ゴミのポイ捨てはダメなことだということも学んでいます。

また、日頃から皆さんが学校給食の牛乳パックの処理や空き缶・ペットボトルキャップの回収などのリサイクル活動を積極的に行ったり、地域の方と一緒に学校周辺の清掃や通学路の整備に取り組んでいることは、ゴミのポイ捨てをしない気持ちを持ってくれることにつながると考えます。

そこで是非、皆さんには、自分の学んだこと、思っていることを、おうちの方や友だちと話し合っ、みんなで何ができるかを考えるなど、環境問題についての意識をさらに多くの人たちに広めてほしいと思います。

今後も、学校での環境学習を充実させるとともに、家庭や地域と連携して美しいまちづくりが実現できるよう取り組みます。

その後の対応状況：

ごみ箱の設置については、子ども議会でも答弁しましたように、現在は設置しているごみ箱についてはできるだけ無くしていこうとしており、外出した時のごみについては持ち帰って処理するというマナーを広げ、ごみのポイ捨ての無い「美しいまち宝塚」となるよう啓発に努め、市民の皆さんに協力をお願いしていきたいと思います。

このため、平成27年3月には、新しいポイ捨て条例を制定する予定で、条例を市民の皆さんに知っていただき、守っていただくように啓発し、ポイ捨てがされないような仕組みづくりを行っていきます。

市立小中学校では、クリーンセンターの見学やさまざまな体験学習のほか、牛乳パックやペットボトルキャップのリサイクル活動等を通して、今後もゴミのポイ捨てはダメなことだということをおぼるとともに、環境問題についての意識をさらに高めていきます。

（生活環境課、学校教育課）

質問（提案）：

・2017年度から、武庫川以西地域で琵琶湖や淀川の水を水道水に利用するようになるそうですが、水が変わっても味や水質及び水道料金は変わってほしくありません。2017年度からの水道水は、今までと味も水質も同じなのでしょうか。また、水道料金は変わるのでしょうか。

答弁：

現在、本市の水道水は、西谷にある川下川ダムの水、武庫川の水、井戸水、それともう一つ、川西市にある一庫ダムの水を水源としてつくっていますが、武庫川右岸地域の水は、井戸水と武庫川の水を水源として、そのほとんどが小林浄水場と亀井浄水場の二つの浄水場で作っています。

しかし、これらの浄水場は、老朽化が進み、建て替えをするのに多くの資金が必要なことや、川下川ダムの近年の濁水状況から、新しい水源を確保することが必要となり、2017年度から、神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市で作っている阪神水道企業団から水を買って、各家庭に送る予定としています。

阪神水道企業団の水は、淀川の水を水源としていますが、オゾンや活性炭を使って高度浄水処理をしているので、安全で良質な水となっています。

このため、武庫川右岸地域の水の水源が変わることになっても、今までより水がまずくなったり、水質が悪くなったりすることはありませんので、どうぞ安心して下さい。

次に、水道料金は変わるのでしょうかについてですが、上下水道局では、将来、資金が足らなくならないように計画を立ててやりくりをしています。

武庫川右岸地域で淀川の水を利用することとなっても、すぐに資金が足りなくなることはありませんので、今のところ、水道料金を値上げすることは考えていません。

その後の対応状況：

先にお答えしましたとおり、2017年度から阪神水道企業団から買う水は、高度浄水処理をした安全な水であり、今までよりまずくなったり水質が悪くなることはありませんし、計画を立てて資金をやりくりしていますので、今のところ料金の値上げも考えておりません。

(浄水課、営業課)

担当部課：都市安全部（公園緑地課）、環境部（新エネルギー推進課）、
教育委員会（施設課）

グループ名	みんなを幸せにし隊	テーマ	宝塚市の生活環境
質問・提案内容（あらし）と答弁後の対応			
<p>質問（提案）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近公園では球技、主にドッジボールなどが広さなどの問題から出来ない所が多くなっています。子供達が自由に遊べる大きな公園を各小学校の校区内に一つ、つくることを提案します。また、ボールが公園の外に出ないように公園に柵をつくることも同時に提案します。 			
<p>答弁：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在ボール遊びができるような公園はグラウンドも含めて市内に5箇所あり、今年度中に新たに1箇所造ります。しかし、まだまだボール遊びができる大きな公園が少ないことは、大変申し訳なく思っています。 各小学校区に大きな公園をつくるためには、広い土地が必要となりますので すぐには困難ですが、市の土地だけでなく、民間の土地でも公園に転用が可能な土地を探してみて、ボール遊びができる公園に整備できないか検討する一方、比較的広い公園でボール遊びに地域の理解が得られる公園がある場合は、遊具を整理して、ボール遊びができないか検討してまいります。 ・公園でのボール遊びは、それを、迷惑と受け取る方もおられますので、公園を利用する人や地域の方々の理解が必要となる場合があります。ボール遊びが認められる公園については、利用者の意見を聞きながら柵の設置についても検討してまいります。 			
<p>その後の対応状況：</p> <p>各小学校区内に大きな公園を整備するには、広い土地が必要となりますのですぐには困難ですが、要望がある地域ではボール遊びができる公園が整備できないか検討しています。</p> <p style="text-align: right;">（公園緑地課）</p>			
<p>質問（提案）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長尾南小学校の校区内にある「メゾン公園」の入り口付近に自転車が多く止めてあり、ベビーカーなどが通りにくくなっているので、駐輪場をつくることを提案します。 			
<p>答弁：</p> <p>この公園は市内の多くの公園と同様に街区公園と言って、近くに住んで歩いていける市民のための公園という位置づけですので、駐輪場は設置しておりません。しかし、自転車で遊びに来る子ども達も多数いることから、木製ベンチの後ろに置くようにすれば、遊びの邪魔にもならないと思いますので、その場所を駐輪スペースとして活用できるように整えます。</p>			
<p>その後の対応状況：</p> <p>公園内の木製ベンチの後ろに駐輪スペースを設けるように準備を進めています。</p> <p style="text-align: right;">（公園緑地課）</p>			

質問（提案）：

- ・太陽光、地熱発電など、安全な方法での発電を、宝塚市で全体的に行うことを提案します。
- ・市内のある学校では、風力や太陽光発電を実践されているところもあるようなので、宝塚市の学校全域でやってみることも提案します。

答弁：

- ・市民の皆さんと一緒にエネルギーについて勉強したり、市の法律にあたる「宝塚市再生可能エネルギーの利用の推進に関する基本条例」を制定しました。これからは、これらのことをきっかけにして、より多くの市民の皆さんに関心を持ってもらって、自然エネルギーの利用を増やしていきたいと考えています。
 - ・現在、市立の小中学校、特別支援学校37校のうち、小さなものを含めて7校に太陽光発電設備を設置し、2校に風力発電設備を設置しています。
- 現在、市立の学校は、皆さんが安全に過ごせるよう耐震化工事を優先して行い、地震が起こっても、耐えられるよう校舎の補強工事を順番に行っています。
- この補強工事が終われば、提案のように学校の屋上などを利用して、自然エネルギーをつくる太陽光発電などの設備を設置することが可能となっていきますので、より安全安心な自然エネルギーの利用が増えていくよう頑張っていきたいと考えています。

その後の対応状況：

宝塚市域で太陽光発電などの自然エネルギーを増やしていくため、市では条例や計画「宝塚エネルギー2050ビジョン」をつくり、市民や事業者の皆さまと協働して取組を進めていくこととしています。

学校などの公共施設でも少しずつではありますが、環境に優しく安全な自然エネルギーを設置していけるようこれからもがんばっていききたいと考えています。

（新エネルギー推進課、施設課）

担当部課：都市安全部（公園緑地課）、企画経営部（政策推進課）、子ども未来部（子ども政策課）、市民交流部（医療助成課）、総務部（人事課）、議会事務局（総務課）

グループ名	こうえん隊	テーマ	宝塚市が使用している資金の使いみちと公園について
質問・提案内容（あらまし）と答弁後の対応			
<p>質問（提案）：</p> <ul style="list-style-type: none"> 山本南1丁目の空き地になっている場所は、前から道路になると聞いていましたが、公園にできないでしょうか。 			
<p>答弁：</p> <p>この空き地は、道路を整備するための用地として1994年に市が買収したのですが、市民の皆さまから道路として整備するまでの間、子どもたちが遊べるように有効に利用しては、との提案を受け、2000年から山本南1丁目子ども遊園として開放していました。しかし、園内で遊ぶボールが隣の民家に飛び込んで窓ガラスなどを割ったり、農地に入ったボールを取ろうとして荒らされるなどの迷惑行為が止まなかったことから、近所の方から閉鎖を強く求める意見が出ました。市も注意看板の設置やパトロールの実施、フェンスを高くするなどの対策をしましたが、改善が見られず、また近所の方の閉鎖への要望が強いことから、2009年3月31日をもって止む無く閉鎖しました。</p> <p>その後、改めて再開を求める要望はありましたが、このようないきさつから、再度子ども遊園に戻すのは困難であるとお答えしています。閉鎖して5年余りが経過していることもありますので、当時ご迷惑をおかけした近所の方に、一度再開についての意向を聴いてみたいと思います。</p>			
<p>その後の対応状況：</p> <p>今後、地元自治会等に現在の状況を確認していきます。</p>			
（公園緑地課）			
<p>質問（提案）：</p> <ul style="list-style-type: none"> 中山桜台6丁目の中山中央公園や、武庫山2丁目公園など、既存の公園を整備し、ネットを張る、遊具を新たに増やすなどして、もっと楽しくみんなで遊べる公園を用意できないでしょうか。 			
<p>答弁：</p> <ul style="list-style-type: none"> 中山中央公園は、野球ができるグラウンドやボール遊びができる多目的グラウンドなど、大小6つの広場から成っています。公園全体で、ブランコや滑り台、鉄棒など5つの遊具はありますが、ご指摘のとおり、一番北側の公園は、ブランコと鉄棒の2つの遊具だけで、他に遊具を置くスペースはありますので、どの場所にどのような遊具がふさわしいか、皆さんのご意見も伺いながら検討してまいります。 武庫山2丁目公園公園は、段差のある2つの敷地に分かれており、それぞれがそれほど広くないため、限られたスペースの中で、皆さんが工夫をしながら遊んでいる様子が目に浮かびます。公園でのボール遊びは、周辺にお住まいの方のご迷惑になることもありますので、ネットを張ることについては、ご近所やマンションの管理組合のご意見も伺いながら、できる範囲で取り組んでまいります。 			
<p>その後の対応状況：</p> <p>今後、公園のあり方等について研究してまいります。</p>			
（公園緑地課）			

質問（提案）：

・ガーデンフィールズの跡地を公園にすることができないか提案します。一部を球技に使える空間に、また、一部をアスレチックなどにして、楽しく遊べる公園にしたらいいのではないのでしょうか。

答弁：

本市では跡地全体約3万平方メートルのうち、約1万平方メートルを取得し、緑をはじめとする現在の素晴らしい環境を生かし、さらに、子どもたちの笑顔があふれ、様々な年代の人たちが憩えるような場所にしたいと考えています。

本年5月に土地利用の方針を取りまとめた中では、今回提案いただきました球技ができるような広場ではありませんが、現在の豊かな緑の環境を生かした庭園や手塚治虫記念館の前庭として、開放感のある芝生広場を整備することとしています。また、緑に囲まれた庭園内には文化芸術を中心としたアート作品などの展示や活動を行い、子どもたちが楽しめる施設を建てることとしています。

その後の対応状況：

市では昨年の11月から観光・まちづくり・文化芸術・景観などの専門家や市民が集まった会議において、宝塚ガーデンフィールズ跡地をどう使っていくか検討を進めています。宝塚ガーデンフィールズ跡地は子どもたちに緑に包まれた環境の中で驚きと感動を与え、夢や想像力、文化・芸術に関する感性を育むことができるような場所にしたいと考えており、今後は宝塚ガーデンフィールズ跡地にどんな物を作るのか、どのように整備するのかといった基本的な計画などを作る予定です。

多くの人々にこの場所を訪れていただき、そして何度でもまた来たいと思ってもらえるような魅力ある公園にしていきたいと考えています。

(政策推進課)

質問（提案）：

・今までの子ども議会で出た質問や提案が今どういう状況にあるのかを、なんらかの形で報告してもらいたいです。

答弁：

市では、子ども議会で発表していただいた質問や提案に対してお答えした内容について、それぞれの市役所の担当部署における取り組みがその後どのような状況になっているかを、翌年の2月ごろにとりまとめています。また、とりまとめた内容は、その年度の子供議員に郵便でお送りし、お知らせしています。

しかしながら、ご指摘のとおり、その年度の子供議員以外の市民の皆さんにも、広くお知らせすべきであったと思います。今後は、全ての市民の方々にしっかりと周知できるよう、とりまとめた内容と、担当部署、窓口として子ども政策課の連絡先を、市のホームページで公表し、お知らせしていきます。

その後の対応状況：

前年度までの質問・提案への対応状況を、市ホームページで公表するようにしました。

(子ども政策課)

質問（提案）：

・今の宝塚で医療費助成されているのは中学3年生までですが、現在、負担が大きく困っている人の年代が、年金生活をしている60代の人や高校生のいる家庭なので、高校3年生まで助成年齢を引き上げられないでしょうか。

答弁：

この制度は、子どもたちが病気やけがをしても安心して医療を受けられることと、保護者の方が安心して子育てができるよう医療費の負担を軽くすることを目的として実施しています。

また、この制度は市と県とが費用を負担して実施していますが、医療費を無料にする対象年齢の引き上げや所得制限の基準を緩和するなどの措置は本市の負担で行っています。

本市では、未来を担う皆さん方が健やかに成長することを願い、2012年7月に兵庫県が定めている、所得制限額を緩やかにして対象者を拡充するとともに、入院にかかる医療費については、既に中学3年生まで無料としておりましたが、さらに、本年7月からは、通院にかかる医療費を無料とする対象年齢を小学4年生から中学3年生に引き上げたところです。

その結果、阪神間では本市と西宮市が、入院及び通院にかかる医療費を中学3年生まで無料としています。

現在、この助成制度を本市の負担でさらに高校生までを対象にすることは、多くの費用が必要となり、今すぐ実施するのは、難しいと考えています。

しかしながら、この制度は安心して子育てできる環境をつくる上で、重要な施策であると考えていますので、今後とも対象年齢の引き上げや所得制限の廃止について検討するとともに、県に対して施策の充実を要望していきます。

その後の対応状況：

こどもの医療費助成の拡充については、まずは現在、実施している中学3年生までの助成制度において、所得制限の撤廃を求める声が大きいため、平成27年度からの拡充を検討いたしました。しかし、財政的に困難であるため見送ることとなりました。今後も高校3年生までの助成拡充も含め、検討課題と認識して検討するとともに、県に対して施策の充実を要望していきます。

(医療助成課)

質問（提案）：

・議員報酬や、職員の給与、ボーナスを削減し、先ほど私の班が述べたことや、宝塚市の発展や整備に回すことができれば、結果的にはさらなる利益に繋がるのではないかと思います。

答弁：

公務員の給与は、民間の会社で働く人の給与と大きな差が出ないように、国にある人事院という組織が全国の民間会社で働く人の給与を毎年調査し、その調査結果を踏まえて、公務員の給与を上げたり下げたりするよう、内閣に対して勧告しています。本市でも、その調査結果を参考にして、市職員の給与を上げたり下げたりすることにより、民間会社で働く人の給与と大きな差が出ないようにしています。

このような取組をしても、本市の平均給与額が兵庫県下で上位となった主な理由は、本市では2003年度以降、若い職員の採用を必要な人数よりもさらに減らして採用してきた結果、職員の平均年齢が上がり、平均給与額も高くなってきたことと、平均給与額の調査の時点で給与カットをしていた団体は、カット後の平均給与額で公表されるため、調査の時点でカットをしていなかった本市の平均給与額が他の団体よりも高くなったことによるものです。

なお、本市では2003年度からさまざまな給与削減に取り組み、今年は職員の毎月の給料の1.3パーセントから5パーセントをカットしています。私や副市長、教育長などの特別職の給与も、毎月の給料の10パーセントから5パーセントのカットを、2003年1月から現在も続けています。

また、正規職員の人数についても、2003年度と比べて300人以上減らしました。住民の人口規模などが、本市と近い全国の39市の平均職員数は約1,500人ですが、本市はその人数より約200人少ない職員数で運営しており、職員数を抑えることによって、給与などに必要な費用が多くかからないように努力しています。以上のような給与カットや正規職員数の削減により、10年間で約170億円を削減してきました。

しかし、市が行っている行政サービスはごみの収集や市役所での窓口業務など、みなさんの身近で、目につきやすい仕事や、赤ちゃんからお年寄りの方などが受けられる福祉関係のサービスなど、みなさんからは見えにくい仕事、さらに現在、東日本大震災で大きな被害を受けた地域に本市から4人の職員を派遣し、被災地で生活しながら、災害からの復旧、復興の業務を担当するなど、職員は住民のみなさんの安全や安心、命を守り、幸せで健康に生きていくための色々な業務を行っています。これらの業務にしっかり対応していくためには、職員の数や職員の給与について慎重に対応する必要がありますと考えています。

その後の対応状況：

本市では、これまで長い期間、職員の給与の引き下げや独自の給与削減策を続けてきました。今年は民間の会社で働く人の給料が上がり、公務員の給与と差が生じたという国の機関の調査結果がありましたので、本市でも若い職員を中心に7年ぶりに給与を引き上げることとなりました。

今後も、市の財政状況や民間の会社の給与の状況も考慮しながら、職員の給与について対応してまいります。

(人事課)

質問（提案）：

- ・議員報酬や、職員の給与、ボーナスを削減し、先ほど私の班が述べたことや、宝塚市の発展や整備に回すことができれば、結果的にはさらなる利益に繋がるのではないかと思います。
- ・議員の方々が、本当に議員以外の大人の何倍も働き、報酬額に見合った働きなんてしていないだろうという意見もあります。議員の方々の働きを常にwebなどで生放送してください。

答弁：

・議員報酬については、「宝塚市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」で定めています。その額については、市長等の特別職と同じく、公募市民や学識経験者、市内の主な各種団体代表などで構成される、宝塚市特別職報酬等審議会で、報酬額等の調査、審議をしていただき、その回答を踏まえて、定めています。

現在の報酬は、2012年1月10日付けの特別職報酬等審議会の答申を踏まえて、同年の3月に、約2パーセント減額し、さらに、同年6月に、議会自らが財政状況を考慮して、5パーセントの自主カットをした報酬額となっています。

・議会や議員の活動状況については、本会議のインターネット中継や市議会のホームページ、また、FM宝塚での放送、市議会報かけはしの年間4回発行、議会報告会の年間12回の開催などを通じて、幅広く市民の皆さんにお知らせしています。

この議会報告会は、毎定例会終了後に開催しており、定例会に提出された議案の審査内容や結果について、市民の皆さんに報告していますので、ぜひ皆さんも参加してください。

また、市議会では、本会議や各委員会などの会議を、2013年では、1年間に242回開催しており、会議数は、年々増加しています。

これらの本会議や各委員会は、すべて基本的に公開で開催しており、どなたでも傍聴することができますので、ぜひ皆さんもお越しください。

さらに、各議員は、市議会での会議だけでなく、チェック機関としての役割を果たすための調査研究や、市民の声を市政に反映するため、土日に関係なく、市役所や各地域で活動しています。これらの活動については、各議員が、自身のホームページやブログ、市会通信などで発信、報告していますので、ぜひご覧になってください。

今後も、議員の活動や審議内容など、皆さんにわかりやすくお知らせするため、その方法を工夫してまいります。

その後の対応状況：

子ども議会で答弁したとおりです。

(議会事務局総務課)